



建築文化賞

景観に配慮した建築物

日本コンベンションセンター 国際展示場9～11ホール

所在地：千葉市美浜区中瀬2-5

施主：千葉県

設計：(株) 横総合計画事務所

施工：清水建設(株)・(株)大林組・三井建設(株)



撮影：北嶋俊治

3

既存の幕張メッセ道路を挟んだ北側の敷地に増設された新展示場である。既存の展示場は展示面積6,750m²を単位とする8コマから成っているが、今回は9,000m²と4,500m²2コマの展示スペースという構成である。既存メッセが凸面カーブを主調としたシルエットに対し、新展示場では凹面によるシルエットとし、形態的な連続性を持たせている。大屋根は96mスパンのトラスによるサスペンション構造となっている。端部にマストを建てて中央をケーブルで吊り、応力を分散して、トラス梁の成を小さくして軽快感を出し、又、マストが海に浮かぶ舟の帆を思わせる一石二鳥の効果を出していた。エスプラナードと呼ばれる観客モルを2階として、搬出入口及び展示スペースとの交差を避けて動線も明快であった。幕張新都心の高層ビルを見通せるエスプラナードの配置も好感が持てた。旧メッセと道路を隔てているために、ジャンクションスペースとして設けられた前面広場が、いかに活躍するかは、今後の運用を見守りたい。



撮影：北嶋俊治

ステンレスを中心とした外装は曲面の利用により堅さを感じさせず、軽快で既存メッセと共に、幕張新都心の中核的施設として、その役割を担っていくであろう。

(島貫俊秀)